

矢野 建一教授 履歴・業績

矢野 建一 教授 履歴・業績

履 歴

1949年（昭和24年）2月15日 長野県 現・伊那市に生まれる

〔学歴〕

- 1967年（昭和42年）3月 長野県高遠高等学校卒業
1968年（昭和43年）4月 専修大学文学部人文学科入学
1972年（昭和47年）3月 専修大学文学部人文学科卒業
（卒業論文「古代国家の解体過程」）
1972年（昭和47年）4月 立教大学大学院文学研究科修士課程入学
1975年（昭和50年）3月 立教大学大学院文学研究科修士課程修了
（修士論文「古代国家解体の東國的展開によせて」）
1975年（昭和50年）4月 立教大学大学院文学研究科博士課程入学
1980年（昭和55年）3月 立教大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

〔職歴〕

- 1975年（昭和50年）4月 本郷高等学校非常勤講師（～昭和63年3月）
1980年（昭和55年）4月 立教大学文学部非常勤講師（～平成4年3月）
1984年（昭和59年）4月 専修大学文学部非常勤講師（～平成4年3月）
1986年（昭和61年）4月 立教大学大学院文学研究科兼任講師（～平成13年3月）
1991年（平成3年）4月 神奈川大学国際学部非常勤講師（～平成5年3月）
1992年（平成4年）4月 専修大学文学部助教授
1998年（平成10年）4月 専修大学文学部教授
2003年（平成15年）12月 学校法人専修大学評議員
2004年（平成16年）9月 専修大学文学部人文学科長（～平成18年8月）

- 2006年（平成18年）9月 専修大学文学部長（～平成22年8月）
 2006年（平成18年）9月 学校法人専修大学理事（～平成22年8月）
 2013年（平成25年）9月 専修大学長
 2015年（平成27年）11月 専修大学北海道短期大学長
 2016年（平成28年）6月 専修大学名誉教授称号授与

業 績

【共著】

- 『豊島区史（通史編） 第4～5章』，豊島区教育委員会，1981年12月
 『三芳町史（通史編） 第1章（古代）』，三芳町教育委員会，1986年12月
 「神仏習合」，『古代史研究の最前線』第四卷文化編（下），雄山閣，1987年12月
 「律令制下の村落とその構造」文部省科学研究費総合研究（A）報告書I『日本
 古代の律令制神祇祭祀の成立過程と構造の研究I』，1989年3月
 「律令国家と村落祭祀」，菊池康明編『律令制祭祀論考』，塙書房，1991年3月
 『越生町史（史料編） 翻刻、解説』，越生町教育委員会，1991年3月
 「鑄川流域の集落遺跡と貫前・宇芸神社」群馬県教育委員会群馬県埋蔵文化財調
 査事業団日本道路公団「矢田遺跡」II（平安時代住居編）まとめと考察，1991
 年3月
 「高石経塚遺跡発掘調査報告書」高石古墳発掘調査団，1996年4月
 『日本史辞典（146項目）』，角川書店，1997年3月
 『岩波日本史辞典』，岩波書店，1999年10月
 「日本古代の「村社」と「官社」」野田嶺志編『村のなかの古代史』，岩田書院，2000
 年3月
 『日本歴史事典（「浅間神社」「水無神社」他4項目）』，小学館，2001年8月
 「アメノワカヒコ物語と古代喪葬儀礼」土生田純之編『日本全国古墳学入門』，小
 学館，2003年3月
 『平安時代儀式年中行事辞典（「大祓」）』，東京堂，2003年9月
 『日本史文献辞典（「瀧川政次郎」）』，弘文堂，2003年12月

- 「墨書瓶」専修大学附属高等学校崖遺跡調査委員会調査報告書『杉並区崖遺跡』，
2004年6月
- 「第10次遣唐使と井真成」，専修大学・朝日新聞社(井真成墓誌研究会資料)，2005
年1月
- 「井真成墓誌」と第10次遣唐使」専修大学・西北大学共同プロジェクト編『遣唐
使の見た中国と日本』，朝日新聞社，2005年9月
- 『日本古代地名辞典（「飛驒国」）』，雄山閣，2006年10月
- 「日本古代の郊祀の礼と太刀契」矢野建一・李浩編『長安都市文化と日本・朝鮮』，
汲古書院，2006年12月
- 「梶子遺跡出土の祝詞木簡と「伎人之堤」」野田嶺志編『地域のなかの古代史』，
岩田書院，2008年6月
- 「古代の墓に対する意識の変化」土生田純之編『事典 墓の考古学』，吉川弘文館，
2013年5月

【研究論文】

- 「初期神宮寺の成立と展開」『歴史学研究月報』206号，1976年10月
- 「八世紀の神仏関係」『史苑』大会用別冊刷（要旨）1976年度立教大学史学会大会
報告，1976年11月
- 「多度神宮寺伽藍起並資財帳」の史料的特質」『地方史研究』147号，地方史研究
協議会，1977年6月
- 「神火」の再検討」『史苑』38巻1～2号 立教大学史学会，1978年5月
- 「八世紀後期の東国について」『埼玉民衆史研究』4号，埼玉民衆史研究会，1978
年10月
- 「東アジアの国家形成—稲荷山鉄剣銘の理解をめぐって—」『史苑』39巻2号，立
教大学史学会，1978年11月
- 「漆紙文書—地方史抄—」『朝日ジャーナル』22巻19号，1980年6月
- 「相模国調郎」の性格」『立教日本史論集』，立教大学日本史研究室，1980年7月
- 「律令国家と祭祀—祈年祭を中心として—」『日本古代史サマーセミナー』第10
集，1982年10月

- 「武蔵における官社の成立」『塔影』第18集，本郷学園紀要委員会，1985年3月
- 「もう一つの即位儀礼をめぐって」『歴史学研究月報』376号（要旨）歴史学研究会古代史部会報告，1985年10月
- 「信濃国小県郡生嶋足嶋神社について」『古代史研究』4号，古代史研究会，1985年11月
- 「律令国家の祭祀と天皇」『歴史学研究』560号（大会報告増刊号），歴史学研究会，1986年10月
- 「日本史研究会古代史部会共同報告批判」『日本史研究』285号，日本史研究会，1986年11月
- 「日本律令国家祭祀の等級について」『史苑』46巻1～2号，立教大学史学会，1987年6月
- 「中臣」氏成立の謎」『歴史読本』32巻24号 増刊別冊「古代の氏族」，新人物往来社，1987年10月
- 「大嘗祭雑感」『古代史研究』9号，古代史研究会，1990年11月
- 「大嘗祭試論—菅蓋儀の再検討—」『古代史研究』10号，古代史研究会，1990年11月
- 「天下（四方）大祓の成立と公民意識」『歴史学研究』620号（大会報告増刊号），歴史学研究会，1991年6月
- 「神祇令供祭祀条と地方官祭祀」『人文科学年報』23号，専修大学人文科学研究所，1993年3月
- 「八、九世紀における大嘗祭の斎戒と祭日」『専修史学』26号，専修大学歴史学会，1994年5月
- 「あなし」攷」『専修人文論集』55号，専修大学学会，1994年10月
- 「飛驒の両面宿禰と方相氏」『古代史研究』13号，古代史研究会，1995年5月
- 「二人の「小野朝臣」と東国温泉行」『専修考古』6号，専修大学考古学会，1996年10月
- 「仲麻呂以後」の官人編成と軍事貴族」『専修人文論集』60号，専修大学学会，1997年3月
- 「日本古代の「官社」と「村社」—「穢臭」「清掃」を中心として—」『古代史研

- 究』15号，古代史研究会，1997年11月
- 「蜂谷家文書の翻刻と調査研究（1）」『専修大学今村法律研究室報』29号，専修大学今村法律研究室，1997年12月
- 「蜂谷家文書の翻刻と調査研究（2）」『専修大学今村法律研究室報』30号，専修大学今村法律研究室，1998年3月
- 「飛鳥寺の仏舎利埋納前段儀礼と方相氏」『専修大学人文科学研究所月報』29号，専修大学人文科学研究所，1999年3月
- 「老岐・対馬の神々をたずねて」『専修大学人文科学研究所月報』195号，専修大学人文科学研究所，2001年3月
- 「日本古代の村落仏教と「温石」」『専修考古』9号，専修大学考古学会，2002年9月
- 「ひも解く湯屋の歴史（小論）」『多度山』30号，多度大社，2004年6月
- 「古代の「神棚」について」『専修考古』11号，専修大学考古学会，2005年10月
- 「古代武蔵国分寺瓦銘文の基礎的研究」『専修大学人文科学研究所月報』222号，専修大学人文科学研究所，2006年3月
- 「井真成研究—その後の研究動向によせて」『人文科学年報』37号，専修大学人文科学研究所，2007年3月
- 「王維坤著「日本における「井真成墓誌」国際学術シンポジウム」（翻訳）」『人文科学年報』37号，専修大学人文科学研究所，2007年3月
- 「西宮秀紀著『律令国家と神祇祭祀制度の研究』（書評）」『歴史研究』53号，愛知教育大学歴史学会，2007年3月
- 「延方相撲と古代の童子相撲儀—中嶋齊先生の所論によせて」『専修大学人文科学研究所月報』229号（中嶋齊教授追悼号），専修大学人文科学研究所，2007年5月
- 「遣唐使の派遣と春日山祭祀」『東アジア世界史研究センター年報』1号，専修大学東アジア世界史研究センター，2008年3月
- 「中国における入唐留学生研究の動向」『人文科学年報』38号，専修大学人文科学研究所，2008年3月
- 「葉國良氏報告に関する質疑応答」『東アジア世界史研究センター年報』2号，専

修大学東アジア世界史研究センター，2011年3月

「賀茂祭の源流」『専修大学人文科学研究所月報』253号，専修大学人文科学研究
所，2011年9月

「遣唐使と来日「唐人」—皇甫東朝を中心として」『東アジア世界史研究センター
年報』6号，専修大学東アジア世界史研究センター2012年3月

「古代史部会 長谷部将司 日本古代の氏族秩序と天皇観 榎村寛之「律令祭祀」
と「律令天皇制祭祀」(2013年度歴史学研究会大会報告批判)」『歴史学研究』913
号，歴史学研究会，2013年12月

【その他】

「今に残る箱根神社の湯堂釜」『小田急沿線新聞』1月11日号，2004年1月

「宿河原の決闘—『徒然草』115段に見る境界のチマター」『小田急沿線新聞』2
月11日号，2004年2月

「豪徳寺周辺に眠る幕末の巨星」『小田急沿線新聞』8月11日号，2004年8月

「井真成」研究 ことはじめ」『朝日新聞』1月11日号夕刊，2005年1月

「土師器の内側に「井部」」『読売新聞』1月27日号，2006年1月

「『専修史学』第四〇号記念 巻頭言『専修史学』創刊の頃の思い出」『専修史学』
40号，専修大学歴史学会，2006年3月

「東京行進曲—いっそ小田急で逃げましょか—」『小田急沿線新聞』6月日号，2006
年6月

「献呈の辞」『専修人文論集』80号（青木美智男教授 柳瀬訓助教授 退職記念
号），2007年3月，専修大学学会

「わが大学史の一場面—日本の近代化と大学の歴史 社会知性の開発を目指し
て—建学の精神を培う専修大学」『大学時報』318号，日本私立大学連盟，2008
年1月

「献呈の辞」『専修人文論集』84号（柘植光彦教授 退職記念号），2009年3月，
専修大学学会

「21世紀の大学群像 あたらしい知の冒険のはじまり（共著）」『時評』51巻7号，
時評社，2009年7月

「専修大学の歴史学（1）史学コース・歴史学専攻、そして歴史学科へ（記念講演会特集 歴史学の過去、現在、そして未来）」『専修史学』50号 専修大学歴史学会，2011年3月

「青木美智男先生との思い出」『専修大学史紀要』6号，専修大学大学史資料課，2014年3月

「21世紀に輝く大学群像 専修大学の学びが大きく変わる：グローバル化に対応した新たな学士課程教育がスタート（共著）」『時評』56巻7号，時評社，2014年7月

「商学部創立50周年に寄せて」『専修商学論集』101号，専修大学学会，2015年7月